

大会名称: 平成28年度
第69回四国高等学校バスケットボール選手権大会

開催場所: 愛媛県総合運動公園体育館 Aコート

試合区分: No. 7 男子 1回戦

期 日: 2016(H28)年6月18日(土)

主審: 竹内 英貴

開始時間: 13:30

副審: 小笠原 淳

終了時間: 15:00

新田 (愛媛2位)	○ 81	32 — 13	● 68	城南 (徳島3位)
		16 — 11		
		20 — 18		
		13 — 26		
		— —		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	村上 勇斗	15	3	3	0	0
5		毛利 和樹	0	0	0	0	0
6	*	原本 樹	8	0	4	0	2
7		川上 海	0	0	0	0	0
8		水本遼太郎	0	0	0	0	0
9	*	渡部 蒼	10	1	2	3	0
10		岡本 瞬	8	2	1	0	0
11		近藤 知哉	2	0	1	0	1
12	*	岡田 知紘	10	1	3	1	1
13		春園 秀人	0	0	0	0	0
14		平 将輝	10	0	4	2	3
15	*	松本 直之	16	0	6	4	0
16		丹下 希	0	0	0	0	0
17		岡田 有夢	0	0	0	0	0
18		高野 翔馬	2	0	1	0	1
HC		玉井 剛 / TEAM					
		合計	81	7	25	10	8

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	笠井 貴司	29	5	6	2	2
5	*	西岡 瑛介	5	1	1	0	1
6	*	玉田 優貴	12	0	5	2	3
7	*	大塚 拓馬	10	0	5	0	1
8	*	川真田紘也	6	0	3	0	4
9		北野 賢	—	—	—	—	—
10		石川 大輝	—	—	—	—	—
11		上野 夢翔	0	0	0	0	1
12		森 亮太	0	0	0	0	1
13		日下 祐喜	—	—	—	—	—
14		津田 力	—	—	—	—	—
15		吉田 裕哉	4	0	2	0	1
16		田中 佑門	—	—	—	—	—
17		高橋 鉄平	2	0	1	0	0
18		弘中 諒	—	—	—	—	—
HC		西田 良裕 / TEAM					
		合計	68	6	23	4	14

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド、お互いマンツーマンディフェンスで始まる。序盤、新田が#4の3P、#15のインサイドプレイにより得点し7-0とリード。城南は#4のドライブインと#8のインサイドプレイを中心にゲームメイクする。中盤、新田は#4の3P、#6のドライブインなど、速い展開から次々と得点を重ね、22-6と大きくリードを広げる。城南は選手交代しながら、#8を中心に、流れを変えようと懸命に追いすが。しかし、新田のファストブレイクを中心とした得点が続き、32-13で終了。
 第2ピリオド、新田は、引き続き速い展開からの攻撃で得点を重ねる。一方の城南もリバウンドからのファストブレイクで苦しい状況をしのぐ。中盤、新田は厳しいディフェンスからの速攻がさえ、次々と加点。城南はタイムアウト後のゾーンディフェンスを含め、何とか新田の流れを断ち切ろうとするが、なかなか得点につながらない。新田の勢いを止められないまま、48-24と新田リードで終了。
 第3ピリオド、両チームともマンツーマンディフェンスに対してアウトサイドシュートを中心とする展開が始まる。城南は#4を中心として、ハイビックからのオフENSEを組み立て、反撃をうかがう。しかし、新田は、速い展開からの攻撃に加え、リバウンドルーズをものし、得点を重ねる。中盤から一進一退の攻防となり、互いに得点を重ねる中、新田は次々と選手を交代し、68-42で終了。
 第4ピリオド、新田、城南とも主力メンバーでスタート。開始早々新田は、ドライブインからの合わせて得点。対する城南もドライブインやアウトサイドシュートで反撃を試みる。城南は新田の厳しいプレッシャーにも屈することなく懸命に戦い点差を縮める。最終的に全メンバーが出場した新田が81-68で勝利。選手層の厚い新田に対して、城南のファイトあふれる頑張りも光る試合となった。

担当者: 西田 卓史(南予バスケットボール協会)

四国高等学校体育連盟・愛媛県教育委員会・四国バスケットボール協会

